

平成28年度能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議の概要

○日 時 平成28年8月29日（月）午後2時～3時30分

○場 所 能代市中央公民館 第5研修室

○案 件

(1) 数値目標・重要業績評価指標（KPI）の達成状況等について

【主な意見と対応】

意 見	対 応
指標について	
<p>目標を達成しそうな指標について、新しい目標値を設定する必要はないか。</p>	<p>27年度は戦略の策定段階ということもあり、今回の実績だけですべてを評価するのは難しい。28年度の実績も見ながら、見直すかどうかも含めて検討したい。</p>
<p>目標数値が実態に合わないといった場合に、項目自体を別のものにできないか。数字を上方修正、下方修正した方がいい項目も見受けられる。推移の分析・考えられる要因についても、もう少し詳しく記載してほしい。</p>	<p>基本的には、現行の指標でいきたいと考えているが、さらに上のレベルを目指すための改訂等は考えられる。推移の分析等は、項目ごとにご指摘いただいた内容を踏まえ、実施している事業、目標の達成状況、判定の方法等、全体の中で検討したい。</p>
産業振興について	
<p>再生可能エネルギーについては、送電網の整備といった環境整備にも力を入れないと、基幹産業の一つに加えるのは難しい。</p>	<p>送電網の整備は必要なことだが、市だけではできないので、県にもお願いし、県を通して国にも要望している。今後も引き続き要望していきたい。</p>
<p>木材製品出荷額を上昇させるためには、新しい市独自の取組を考える必要があるのではないか。また、再生可能エネルギーを企業誘致に向けて、例えば工業団地でエネルギーコストを安くできるというセールスポイント等について総合戦略に入れ込んでいけないか。</p>	<p>新たな取組の必要性は理解している。新しい事業を実施する場合、総合戦略に書き加えるのか、施策の方向性の中で変更しなくても進められるのか、様々なパターンが考えられるため、その状況に合わせて検討したい。</p>

意 見	対 応
情報発信について	
ホームページは、アクセス数を増やすだけではなく、どのように情報を拡散するのかを考えていただきたい。フェイスブックやツイッターは直接的な数字にはつながらないが、情報が皆の目に入るといふ点では有効なツールである。	情報発信については、市でもホームページだけでなく、フェイスブックやツイッターを活用しているほか、シティーセールス事業にも取り組んでいる。

(2) 地方創生先行型交付金事業の効果検証について

市が平成27年度に実施した地方創生先行型交付金事業について、事業の効果を戦略会議として検証していただいた。出席委員の評価を集計した結果、対象事業すべてにおいて、総合戦略のKPI達成に有効であったという結果となった。

【地方創生先行型交付金事業】

事 業 名	委員からの意見
① 能代市総合戦略策定事業	※KPIの設定がないため評価なし。
② 出合い創出支援事業	実績値は目標値を下回っているが、成婚に至らなくても、まずは参加者が多いことが重要と考える。直ちに結果は出ないものと認識。
③ めんchoco親子応援事業	指標からは効果が十分にあると考えられる。他の市町村と比べて評価される部分もあると思う。
④ 地域資源を活用した地域プロモーション推進事業	目標値に届いていないが、天空の不夜城の東京出陣は大きなインパクトがあったと評価できる。今後の重要事業として期待出来る。観光の目玉として推進していただきたい。
⑤ 「売り込め能代の食と農」推進事業	出荷額としては十分な効果があったと判断できる。実施内容がKPI指標の実績値と合っているのかは疑問なところもある。今後、事業展開していくのであれば、実施内容に見合った目標とすべきではないか。
⑥ 移住定住支援事業	相談件数が多かったことから評価できる。今後は実際の移住、起業等につながるような方向を目指していただきたい。

(3) 地方創生関係の交付金等について

※特に意見はなかった。